

(26) ラッキョウ
ア 殺菌剤

農 薬 名	成 分 名	系 統 名	F R A C コード	適 用 病 害 虫 名							注 意 事 項
				乾 腐	さ び	白 色	軟 腐	灰 色	病 び	病 び	
アミスター 20 フロアブル	アゾキシトロビン	ストロビルリン	11	◎							
カンタスドライフロアブル	ボヌリト [®]	アミド [®]	7				◎				
ス ポ ル タ ッ ク 乳 剤	プロクロラズ [®]	SBI	3	◎							
ス タ ー ナ 水 和 剤	トリソリニック酸	その他	31				◎				
ストロビーフロアブル	クレゾキシムメチル	ストロビルリン	11	◎							
セイビアーフロアブル 20	フルジオキソニル	その他	12				◎				
ダコニール 1000	TPN	その他	M05				◎				
ト ッ プ ジ シ ヌ M 水 和 剤	チオファネートメチル	ベンツイミダゾール	1	◎							
トリフミン水和剤	トリフルミゾール	SBI	3	◎							
フォリオゴールド	メタラキルM・TPN	混合剤	4・M05		◎						
フロンサイド水和剤	フルアジナム	その他	29		◎		◎				
ベルクートフロアブル	イソノクサンジンアルベシル酸塩	その他	M07				◎				
ベトファイター顆粒水和剤	ジモキサニル・ベンチアバリカルブ [®] イソ [®] ビル	混合剤	27・40		◎						
ベンレートT水和剤 20	チウラム・ベノミル	混合剤	M03・1	◎							
ホライズンドライフロアブル	ジモキサニル・ファモキサゾン	混合剤	27・11		◎						
マスター [®] ス水和剤	シュードモナスロデシア	生物農薬	NC			野					野：【野菜類登録】
ライメイフロアブル	アミスルブロム	その他	21		◎						
ラ リ 一 水 和 剤	ミクロブタニル	SBI	3		◎						
ロ ブ ラ ー ル 水 和 剤	イソジオ	ジカホキシド [®]	2				◎				

(26) ラッキョウ
イ 殺虫剤

(26) ラッキョウ
ウ 土壌消毒剤

農薬名	成分名	R A C コード I:殺虫 F:殺菌	適用病害虫名									注意事項
			セ ン チ ュ ウ 類	ネ グ サ レ セ ン チ ュ ウ 類	ネ コ ブ セ ン チ ュ ウ 類	黒 腐 菌	白 腐	根 腐	乾 腐	コ ガ ネ ム シ 類	幼 虫	
ガスタード微粒剤 バスアミド微粒剤	タゾメット	I:8F			◎			◎	◎			
クロピクロール ドジヨウピクリン	クロルピクリン	I:8B					◎					
デイ・トラペックス油剤	チャルイチオシアネット・D-D	I:8F・8A	◎		◎		◎	◎				
テロ油剤 D C D	チャルイチオシアネット・D-D	I:8A		◎	◎				◎			
トラペックサイド油剤	チャルイチオシアネット	I:8F	◎				◎					

工 病害虫防除法（ラッキヨウ）

(ア) 乾腐病 *Fusarium oxysporum*, *Fusarium solani*

(防除のねらい)

本菌は土壤伝染、種子球伝染する。菌の生育適温は25~30°Cで比較的高温を好む。土壤中の菌量は7月下旬に高くなり、この時期の前後が最も感染しやすい。また、ネダニは本病の発生を助長する。

(耕種的防除法)

健全な種子球を使用する。排水対策を講じる。

(イ) さび病 *Puccinia allii*

(防除のねらい)

(耕種的防除法)] ネギの項参照

(ウ) 白色疫病 *Phytophthora porri*

(防除のねらい)

(耕種的防除法)] ネギの疫病・白色疫病の項参照

(エ) 軟腐病 *Erwinia carotovora* subsp. *carotovora*

(防除のねらい)

(耕種的防除法)] ネギの項参照

(オ) 根腐病 *Pyrenopeziza sp.*

(防除のねらい)

菌の生育適温は15~25°Cで、種子球伝染する。また、ほ場内では耕耘方向と同一方向に発生する例が多く、土壤伝染すると思われる。

(耕種的防除法)

種子球伝染するため、健全な種子球を使用する。

(カ) 灰色かび病 *Botrytis cinerea*, *B. squamosa*

(防除のねらい)

(耕種的防除法)] ネギのボトリチス葉枯病の項参照

(キ) モザイク病 SLV, シャロットイエローストッライプウイルス, TMV

(防除のねらい)

シャロット潜在ウイルス(SLV)は種子球伝染、アブラムシ伝染によって非永続的に伝搬する。接触伝染は認められていない。シャロットイエローストッライプウイルスは、ネギ、タマネギにも感染し種子球伝染、アブラムシ伝染する。タバコモザイクウイルスは土壤伝染、種子球伝染する。シャロットイエローストッライプウイルス、TMVともSLVとの重複感染で症状・被害が激しくなる。

(耕種的防除法)

いずれのウイルスも種子球伝染するため、健全な種子球を使用する。

(ケ) ネギアザミウマ

(防除のねらい)

ネギの項参照

(ケ) ネギアブラムシ

(防除のねらい)

ネギの項参照

(コ) ネダニ

(防除のねらい)

(耕種的防除法)] ネギの項参照